# おやばと

発行所
公益社団法人自衛隊家族会
〒162-0845
東京都新宿区
市谷本村町5-1
(TEL)03-5227-2468
(FAX)03-5227-2473
購読料1ヶ月一部110円
ホームページ
http://www.jkazokukai.or.jp/
メールアドレス
jkazokukai@jkazokukai.or.jp

主な記事

1面　◇防衛力抜本的強化2年目の新年度開始
2面　◇回想「コロナ禍に学ぶ予備自業務」
3面　◇論壇「戦争の時代　北朝鮮の深謀遠慮」
8面　◇新企画「自衛隊を動かすメジャーコマンド」について
シリーズ企画
❶面　家族会長等奮戦記
❷面　自衛隊の学校（最終回）、美佐の新国防論、きずな
❸面　米国事情（第50回）
❻面　歌壇・俳壇、健康の扉
❼面　シニアの鉄人「予備的遺書とは何か」

ここにしかない成長。
平和を、仕事にする。
陸海空自衛官募集
防衛省自衛隊 0120-063792
【自衛官募集ホームページ】
http://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/

# 防衛力抜本的強化2年目の新年度開始

## 年度初めの総理訪米で日米同盟、同志国との連携強化を世界に発信

戦後最も厳しく複雑なわが国を取り巻く安全保障環境。このことを踏まえて、防衛力を抜本的に強化する2年目の令和6年度が幕を開けました。全国各地では、自衛隊入隊・入校式が挙行され、また、防衛省の本省（東京都新宿区）などでは4月1日に防衛省事務官などの入省式も行われました。このような中、岸田文雄総理大臣は、4月9日から11日（いずれも現地時間）までの間、ジョセフ・バイデン米国大統領からの招待で国賓待遇として訪米し、日米首脳会談や上下両院の合同会議で演説を行うとともに、フェルディナンド・マルコスフィリピン共和国大統領を加えて初めてとなる日米比首脳会談を実施するなど、強固な日米同盟と同志国との連携強化を世界に発信しました。また3カ国首脳会談に先立ち、海上自衛隊は4月6日と7日の両日、日米豪比による共同訓練を南シナ海で実施しています。

記者会見をする岸田総理大臣（首相官邸HP）

**日米同盟の抑止力・対処力の一層の強化で合意**

岸田文雄総理大臣の国賓待遇としての訪米は、平成27年の安倍晋三総理大臣以来9年ぶり。日米首脳会談後の共同記者会見で、岸田総理大臣は「国際社会は歴史的な転換点にある。日米、インド太平洋、そして世界が将来にわたり、平和と安定、繁栄を享受するためには、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を断固として守り、一層盤石にしていかなければならない」「私から、国家安全保障戦略に基づき、反撃能力の保有や防衛費と関連する予算の引上げなど、強い決意を持って防衛力の強化に取り組んでいることを伝え、バイデン大統領から改めて強い支持を得た。その上で、私たちは、日米同盟の抑止力・対処力の一層の強化が急務であることを再確認し、米軍と自衛隊の相互運用性強化のため、それぞれの指揮・統制の枠組みを向上させることを含め、安全保障・防衛協力の強化で一致した」と述べました。

**日本として米国とともに責任を果たす覚悟を表明**

また、上下両院合同会議での演説後の記者会見では「米国が築き上げてきた国際秩序が今、新たな挑戦に直面している。自由や民主主義、これが世界中で脅威にさらされている、こうしたことを指摘した上で、引き続き、米国のリーダーシップが必要不可欠であること、そしてそのために、日本もともに責任を果たす覚悟があるとの思いを伝える演説とした」と日本の立場を強調しました。

なお、岸田総理大臣は演説の中で「今この瞬間も、任務を遂行する自衛隊と米軍の隊員たちは、侵略を抑止し、平和を確かなものとするため、足並みをそろえて努力してくれている。私は隊員たちを賞賛し、感謝し、そして、隊員たちが両国から感謝されていることが、私たちの総意であると知っている」と述べています。

**初の日米比首脳会談の開催**

4月11日（現地時間）訪米中の岸田総理大臣は、ワシントンD. C. において、バイデン米国大統領およびマルコスフィリピン大統領と初の日米比首脳会談を行いました。岸田総理大臣は、記者会見で「法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を維持・強化するためには、同盟国、同志国の重層的な連携が求められる。日本と米国、そしてフィリピンは、この海でつながった海洋国家であり、自然なパートナーであると思っている。こうした3カ国が、幅広い連携をしていくことが重要であると考えている」と連携強化の必要性を述べました。

日米比首脳会談（首相官邸HP）

なお、マルコス比国大統領は会談において、これまでの日本および米国からの支援に謝意を表明するとともに、日米比協力を一層強化したい旨、発言があったとのことです。

◇　◇

国賓待遇は、アメリカの大統領が同盟国など、重視している国の首脳を最大級の格式で招くことです。バイデン大統領は就任以降、フランス、韓国、インド、オーストラリアの首脳を国賓、または国賓待遇で招いていて岸田総理大臣で5人目となります。招待されると、歓迎式典や公式晩さん会など、特別な公式行事が行われ、大統領など国家元首の場合は「国賓」、首相の場合は「国賓待遇」と呼びますが、行事などの内容はほぼ同じとのことです。

---

# 令和6年度入校式

## 防衛省高官が訓示・激励

防衛大学校などで令和6年度入校式が行われ、入校生は緊張の中、それぞれ宣誓を行いました。

防衛大学校（久保文明学校長）では4月5日、鬼木誠防衛副大臣の出席の下で、本科第72期学生（518人）および研究科入校生（68人）の入校式典が行われました。

なお入校者数には、女子学生（94人）と留学生（9カ国22人）が含まれます。

防衛大学校入校式（防衛省HP）

宣誓の様子（防医大HP）

防衛医科大学校（福島功二学校長）では4月8日、増田和夫防衛事務次官出席の下で医学科第51期（83人）、看護学科第11期（45人）の入校式典が行われました。

また今年度から、入校生と在校生の連帯感の醸成のため、新たに在校生代表歓迎の辞、入校生代表あいさつも行われました。

高等工科学校観閲式（防衛省HP）

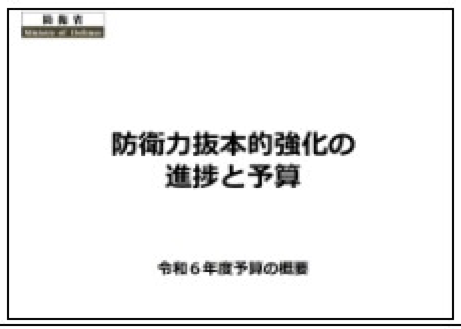
陸上自衛隊高等工科学校（学校長・篠村和也陸将補）では4月7日、松本尚防衛大臣政務官の出席の下で、第70期生（356人）の入校式が行われました。入校生はこれから3年間、陸上自衛隊の中核を担う自衛官となるため、高度な教育、クラブ活動、訓練などに励み、仲間と共に切磋琢磨していくことになります。

---

# 防衛力抜本的強化の

# 2年目の予算成立

3月28日、令和6年度予算が可決・成立しました。一般会計総額は約112兆円。2年連続で110兆円を超えています。その内防衛関係費は、米軍再編などを含めると7兆9千496億円です。


防衛省 Ministry of Defense

防衛力抜本的強化の
進捗と予算

令和6年度予算の概要

**防衛省公表内容（抜粋）**

**防衛力整備計画の進捗状況**

防衛省は、令和6年度予算の説明の前に、防衛力整備計画の進捗状況を説明しています。この中で「国家防衛戦略」および「防衛力整備計画」の各事業を的確に執行していくため、令和5年4月、防衛力抜本的強化実現推進本部（本部長・防衛大臣）を設置。

本推進本部の下、徹底した事業の進捗管理や、調達手続き、会計業務の早期化・合理化を図ることにより、防衛力の抜本的強化を強力に推進していくとしています。

**令和6年度予算の**

**基本的考え方**

基本的な考え方として以下のことを強調しています。

◇国際社会は戦後最大の試練の時を迎え、既存の秩序は深刻な挑戦を受け、新たな危機の時代に突入しているとの基本認識の下「防衛力整備計画」（令和4年12月16日閣議決定）に基づき、整備計画期間内の防衛力抜本的強化実現に向け、令和6年度において必要かつ十分な予算を確保

◇歳出ベースは、令和5年度に大きく増加した契約額を着実に執行するための予算を確保し、整備計画対象経費として7兆7249億円を計上

◇契約ベースは、5年目の令和9年度に向け、複数年度を要する装備品や自衛隊施設などの整備に早期に着手できるよう、整備計画対象経費として9兆3625億円を計上

◇防衛力の抜本的強化の7つの分野について、引き続き推進

スタンド・オフ防衛能力や、イージス・システム搭載艦を含めた統合防空ミサイル防衛能力などの防衛力の中核となる分野の抜本的強化、可動数向上、弾薬確保、防衛施設の強靭化に取り組む

また人的基盤強化、衛生機能の強化など、防衛生産・技術基盤の維持・強化に取り組む

足下の物価高・円安の中、経費の精査に努めるとともに、まとめ買い・長期契約などによる装備品の効率的な取得を一層推進

**令和6年度の主な編成事業**

主な編成事業として以下の内容を説明しています。

◇臨時の統合任務部隊ではその情勢の推移に応じたシームレスな対応が困難、領域横断作戦を実施し得る統合運用態勢の確立が不十分、米インド太平洋軍司令部と調整する機能が不足との課題を解決するため「統合作戦司令部（仮称）」を創設

◇南西地域への機動展開能力を向上させるため、部隊や物資を迅速に輸送する機動舟艇を取得し、共同の部隊として「自衛隊海上輸送群（仮称）」を新編

◇北方から太平洋にかけての沿岸の警戒監視任務をより迅速かつ効率的に実施するため、大湊地方隊を改編し、横須賀地方隊と統合。この際、大湊地区には「大湊地区隊（仮称）」を新編

◇自衛官の定数の範囲内において、自衛官の予算上の人員数の上限として各年度要求していた自衛官の「実員」を廃止

**人的基盤・衛生機能の強化**

自衛隊の任務遂行を支えるため、人的基盤の強化（人材の確保、処遇の改善、民間人材の活用など）、衛生機能の強化（自衛隊病院の機能強化など）等の各種施策を推進していくことが必要としています。

人的基盤については、その他「ハラスメント防止対策」「海自艦艇の通信環境の改善」「女性活躍、働き方改革及び生活・勤務環境改善の推進等」「教育・研究体制の充実」「持続的な部隊運用を支える予備自衛官等に係る施策」の推進を実施します。

また、衛生機能の強化については「第一線救護能力等の強化」「戦傷者の後送間救護能力の強化」「自衛隊病院の機能強化」を実施します。

---

## 家族会長等奮戦記

(84)

# 会勢の拡大が急務

**長崎県自衛隊家族会**
会長　**前川　要次**

**はじめに**

皆さま、こんにちは。長崎県自衛隊家族会会長の前川要次と申します。

今回「おやばと」に寄稿する機会をいただきましたが、2018年にも「DEFENSE WORLD 2018」に寄稿させていただきました。

私は息子2人が自衛隊に入隊したことを機に地区の家族会に入会し、その後、地区会の役員を引き受けたことにより、家族会に深くたずさわるようになりました。地区会の役員、地区協議会の役員および県役員を兼務する中、令和5年5月の定期総会で蒲田正前会長の後任として会長に就任しました。

家族会の組織の継続・自衛隊の各部隊の行事および関係団体の行事にも積極的に参加していますが、その機会がさらに多くなり戸惑っています。しかし、多くの方々との交流・出会いの場ができていることに感謝しています。

**本県の入会状況**

長崎県自衛隊家族会は、昭和34年12月12日に自衛隊父兄会長崎県支部連合会として、7市43町村4853人で発足しました。

平成18年頃は、会員数が6000人以上でしたが、その後、新隊員の入会者が年々減少、現職隊員の退官に伴う退会によって会員数は減少し、現在は県庁所在地の長崎市・離島を含む13市4郡8町に14地区協議会・39地区会で約4000人の会員で活動しています。

自衛隊の隊員募集が厳しく各広報官が苦慮されており、家族会としましても「私たちの信条」を実践し、協力体制の充実を図るとともに、会員の確保が急務の課題となっています。

また、入隊されても入隊者の情報が個人情報として、入手が難しいのが現状でしたので、長崎地方協力本部と長崎県自衛隊家族会が「入隊予定者に係る個人情報の取り扱い」に関する協定書を令和3年に取り交わし、新隊員の情報が入手できるようになったことで、会員の拡大が期待されます。

さらに（公社）自衛隊家族会より、各自衛隊教育部隊・機関・地方協力本部などへ協力依頼文を送付していただくことで、入会の説明機会が得られるのではと願っています。

長崎県家族会としては、各協議会および各地区会で自衛隊入隊入校予定者壮行激励会を毎年実施していましたが、コロナウイルス感染症の拡大で3年間も実施できなかった地区会などもあり、会員数の減少に影響を与えたのではと思っています。コロナウイルス感染症が第5類感染症に移行し、自衛隊入隊入校予定者壮行激励会が各地区会で開催されるようになり、新会員の入会を切望しています。

**本県に所在する各部隊**

長崎県には、陸海空の自衛隊の基地、駐屯地が所在するとともに、米海軍佐世保基地があります。

【陸上自衛隊】
相浦駐屯地（水陸機動団）・崎辺分屯地（水陸機動団）・大村駐屯地・竹松駐屯地・対馬駐屯地。令和6年3月には、大村市の竹松駐屯地に水陸機動団の3つ目の連隊が新編されました。

【海上自衛隊】
佐世保地方総監部・佐世保教育隊・第22航空群・対馬防備隊本部・上対馬警備所・下対馬警備所・壱岐警備所

【航空自衛隊】
海栗島分屯基地・福江島分屯基地

【地方協力本部】
自衛隊長崎地方協力本部（出先事務所10カ所）

**家族会の活動状況**

これら陸海空の各部隊および地方協力本部と家族会は良好な関係を維持し、連携を保ちながら活動を行っています。毎年、大村市で開催される四部隊合同自衛隊記念日行事では、沿道に多数の市民が参加し、声援の中、市中パレードが盛大に開催されています。

また、水陸機動団発足時から地元住民・漁協関係者のご理解を得るために奮闘された蒲田前会長の永年のご尽力もあり、南島原市の加津佐町前浜海水浴場では水陸機動団の基礎訓練が実施されています。一時、コロナウイルス感染症の拡大で中止していましたが、久々に基礎訓練が再開されましたので、昨年、家族会として激励を兼ねて、訓練の見学に行ったところです。訓練は大変厳しく、実戦さながらの訓練を見学して頼もしく、心強く感銘を受けました。

このことから、長崎県自衛隊家族会の活動の一環として毎年実施している防衛講話を開催するにあたり、会員の皆さんから、ぜひ水陸機動団に講演をお願いしてほしいとの要望があり、令和5年度防衛講話をお願いしたところ、ご多忙にもかかわらず、前水陸機動団長兼相浦駐屯地司令・陸将補梨木信吾様にご講演いただきました。

大変盛会に終わることができましたことに感謝とお礼を申し上げます。

長崎県には、多くの部隊が所在しています。会員の皆さんと近傍部隊を訪問し、子弟や隊員の激励を兼ねて各部隊を研修し、会員相互の親睦を深めたいと思います。

自衛隊員に最も身近な存在であることに誇りを持ち、今後も、自衛隊を支えていきます。

HOTEL GRAND HILL ICHIGAYA
防衛省共済組合 直営施設 ホテルグランドヒル市ヶ谷
守るあなたへ　組合員に贈る
開業60周年記念プラン
多くの方に支えられ、ホテルグランドヒル市ヶ谷は2024年3月に60周年を迎えました。
組合員の皆様へ感謝の想いを込めて特別なプランをご用意いたしました。
組合員限定特典
60th
SINCE 1964